

令和6年度 第1回 双葉小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年4月26日（金）14時30分から16時00分
- 2 開催場所 双葉小学校 会議室
- 3 出席委員 河邊 忠一、平岡 廣二、加藤 泰弘、伊東 敏郎、水野 久美子
大羽 恵子、蓑 悦子、大嶋 雅也
- 4 欠席委員 富田 秀仁、木村 理
- 5 学校支援コーディネーター 岡野 真知
- 6 学 校 藤井 隆志（校長）、滝川 宏美（教頭）、浅井 功平（教務主任）
馬淵 康枝（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 馬淵 康枝
- 9 議長の選出

司会の教頭から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、水野委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）学校運営の基本方針について
- （2）いじめ防止等のための基本的な方針について
- （3）夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

11 会議記録

司会から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長からパワーポイント資料を基に学校教育方針について説明があった。今年度も引き続き「夢に向かってともに伸びゆく子」を目標に掲げ、目指す子供の姿として「やりたいこと」を見つけて挑戦する子の育成、「何のために」「なぜ」を問い、探究する教科学習の実践、ピア・サポートやキャリア教育の充実についての説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ 思いやりの心を中核にした学校教育目標実現のために少しでも力になれると良いと考えている。活動や単元において『何のために』を考える時間を設定する。」とは、どういう場面で実践されるかとの質問があった。（河邊委員）

→ キャリア教育、教科の単元ごとに「なぜ？」があるはずだが、すべての活動で時間をとるわけではない。ただ、子供自身が様々な行事や活動を自分ごととして捉えることができるよう「なぜ、行うのか、学ぶのか」を思い浮かべたり発言したりして、少しでも考えることができるようになれば、6年生までに学びに向かう力になる。（校長）

- ・ 「何のために」は正解がない？は不可解に感じるが先生方は共通認識を持っている

のか。(平岡委員)

→ 持っている。年度はじめに校長の方針についての説明の際に全職員で考え方を共有している。(校長)

- ・ ひと・もの・ことの中には教科も入る。キャリアパスポートは中学へと持ち上がっていく。その後の人生にも繋がる。国語はなぜ学ぶ、全ての学びは繋がり人生の岐路に立った時必ず役に立つ。ただ、これを先生が実践するのは大変な事で、組織で守っていくのが必要。(加藤委員)

- ・ 1年生2年生の感性豊かな発表会を見て、表面的な文字だけでなく先生に掛けてもらう言葉が中学年になって糧になる。読書する際にも人によって読み取り方に違いはあるが、ベースとなる国語の学習が小学校ではとても大事だと思う。(大羽委員)

- ・ キャリア教育の柱となるキッズチャレンジ・ビジネス、1年生から模擬販売を見せるが、他の学年や他の活動は？(伊東委員)

→ 販売活動は6年生が行うが、そこに向かう過程においては全学年が関わる活動を行う。

- ・ 教科は結び付いている。日々の活動も行動も組み合わせて学んでいくのが小学校。地域の人が学校に足を運んで子供たちを支援し、その関わりが子供たちを良い方向へと向かわせていくと思う。(蓑委員)

- ・ 親がPTA総会で配付された資料等を読み込んで理解して、要点を子供に伝えてサポートすることもできるのではないか。(大嶋委員)

(2) いじめ防止等のための基本的な方針について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき説明があった。いじめ防止対策方針に基づき心身の苦痛を訴える一人ひとりに対応する。まずは未然防止、SOSに気づけるよう学校全体で意識していく。地域の人たちにも登下校時などを中心に、子供に積極的に関わっていただきたいと考えている。一日の終わりに子供が気になる事を残さず、楽しかったという思いで家に帰ることができるようにしたい。負の思いを抱えたまま下校させないことを職員が共通認識して対応している。また、面と向かって言えない事はネットに上げてはいけないという指導もする。

(3) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

議長の指示により、教頭から学校運営の基本方針を具現化するための意見について説明があった。

- ・ 本校が取り組んでいるキャリア教育の柱となるキッズチャレンジ・ビジネスを引き続き子供の実態に合わせながら充実させていくべきである。
- ・ 6年生だけでなく、全学年が関わる活動とする。
- ・ 学習支援ボランティアの協力を得ながら子供たちの力の伸長につながる活動を展開

する。

- ・ 地域の様々な職種の人たちに、ものづくりや販売において大切にしたい考え方や具体的な方法を教えていただいたりする機会を設定する。

以上の意見を議決した。

その他報告事項等

大羽委員より、学校支援ボランティア募集のチラシを地域の回覧板で周知したことと、昨年度末の活動について報告があった。学習支援コーディネーター岡野様からは、保護者への登録呼び掛けのための文書を4月末までに配付することと、募集期限は設けないが5月に一度、登録リスト作成のためにまとめること、依頼内容の伝達方法は今後検討のうえ決定することの報告があった。

司会から、次回会議は、令和6年6月20日(木) 14時30分～16時00分
会議室で開催する旨の報告があった。